

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名	アパレル技術科3年	単位	1 単位
科目コード	科目名	デザインパターン	授業期間	5/19-7/5

担当教員(代表)：青砥 厚二

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

DESIGN PATTERN VOL.5 SHIRT DESIGN デザイナーとパタンナーの仕事に近い形でトレーニングする授業。デザイン解釈～フルパターンの実戦に近いパタンナーの仕事を実習。デザイナーが要求するデザインを実現させるため、個々に対話しながら良いパターン、パタンナーとは何か考察、考える力を習得することを目指し、パターンがデザインにおいていかに重要な役割かを理解する。デザイン1、2と反復練習することで技術の向上を目指す。弊社ブランドの実際に使っているパターンも公開する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
デザイナー自己紹介、授業の内容と流れと目的	講義	1			
「パターン設計1」設計するデザイン説明	演習	2			
「パターン作成1」実物大のパターン実習	演習	2			
「トワール作成1とパターン修正1」仮縫い	演習	2			
「講評会1」	演習	1			
「パターン設計2」設計するデザイン説明	演習	2			
「パターン作成2」実物大のパターン実習	演習	2			
「トワール作成1とパターン修正2」仮縫い	演習	2			
「講評会2」	演習	1			

【評価方法】

デザイン解釈評価30% パターン技術評価60% 書類記述評価10%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 デザイナーとパタンナーの仕事に近い形での課題を実施し、パターン技術向上を目指した講義内容です。英国留学、テキスタイルメーカー、コレクションブランドで経験を積んだ株式会社ユーストン代表兼ウィメンズブランドデザイナーの青砥が担当します。

記載者氏名 青砥 厚二

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KE3	科名 アパレル技術科 3年	単位	1単位
科目コード	科目名 カットソー	授業期間	前期 (15コマ)

担当教員(代表) : 大澤 幸子

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

カットソーの基礎知識、ニットアパレルを理解するために必要な商品知識の習得
 カットソー素材の服作りにおけるミシン類の基礎知識、技術の習得
 カットソー素材のパターン作成、指示書作成までを理解する

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. カットソー概論 講義 1コマ
 カットソーの分類、特徴、編地についてプリント、サンプル、スワッチを提示しながら解説します
2. カットソーの縫製 実習 2コマ
 カットソーに使用するミシンの解説と基礎縫いの実習(生産実習室にて特殊ミシン使用)
3. カットソーの縫製 実習 1コマ
 伸縮素材の縫製実習、Tシャツの作成
4. カットソーパターン 実習 3コマ
 CAD(東レPatternMagic II)によるパターン作成、仕様書作成
5. ニットファブリック 実習 8コマ
 各自作品の作成、縫製指導(生産実習室にて特殊ミシン使用)

【評価方法】

レポート(ファイル)の提出、Tシャツ縫製、出席率

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

現職のカットソー工場のパタンナーですので、現場の作業、現場の声を活かした授業をしていきます。

記載者氏名 大澤 幸子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12313, 12303	科名 アパレル技術科 3年	単位	単位1
科目コード 46300	科目名 縫製研究	授業期間	(前期)

担当教員(代表) : 岩井一仁	共同担当者 :
-----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

「ジャケット」シングル二つ釦ノッチドラペルの縫製を 1950 年代からの Tailor & Dressmaking の事実及び技術を研究また実習し、そこから新しい知識や見解を得て、それを現在主流の量産品の縫製に融合させ、高品質化を図れる有益な能力を取得することを目指す。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
パターンの設計、仕様、造形の説明。		1			
裁断		1			
毛芯の設計		1			
裁断		1			
身頃の縫製		1			
身頃縫製		1			
芯据え		1			
身返し縫製		1			
脇入れ		1			
肩入れ		1			
衿作り		1			
衿付け		1			
袖作り、袖付け		1			
仕上げ、ポケットの種類の説明～実習		1			
質疑応答、評価など		1			

【評価方法】 ・評価S～C・F評価

・評価基準：学業評価80%、授業姿勢20%

授業の特徴と担当教員紹介

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 岩井一仁

2022度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12303	科名 アパレル技術科3年	単 位	単位 1
科目コード 401400	科目名 生産管理各論 品質管理	授業期間	後期

担当教員(代表)：大峠 敬三 共同担当者：坂田 候晋

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 アパレル・小売企業が求める審美性、コスト、納期と消費者が求める品質を備えた製品を生産するために必要な品質管理について基本的な知識と、実際の現場を踏まえた情報を合わせ、より現実的な知識と技術を学ぶ。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

コマ	内 容	コマ	内 容
1	品質管理とは？ ・アパレル、小売り各社の品質管理の考え方 ・アパレル製品の企画から販売まで	16	
2	繊維の種類と特性 ・各種繊維の種類や特性、染色について ・織物・編物の特性と物性について	17	
3	繊維製品の品質評価 ・染色堅牢度、寸法変化率、物性の各試験と評価方法 ・機能素材の評価方法 ・検査結果を製品づくりに活かす	18	
4	アパレル業界に関連する法律(表示関連)について ・家庭用品品質表示法と取扱い絵表示 ・景品表示法 ・表示〇×クイズ	19	
5	製品品質における安全管理 ・アパレル製品の安全管理 ・作ってはいけない、販売してはいけない製品	20	
6	繊維製品の取扱いとお客様からの苦情事例 ・着用、洗濯とクリーニング、保管 ・苦情発生時の対応と調査、再発の防止策	21	
7	生産における品質とは？ ・アパレル製品に求められる品質 ・アパレル製品が作られる上でのパート別役割	22	
8	生産における品質管理① ・ルーティンワークと品質管理 ・素材選びの品質管理	23	
9	生産における品質管理② ・海外生産の品質管理	24	
10	設計作業の品質管理 ・パタンナーの品質管理 ・設計段階で起こる問題事例と解決策	25	
11	製造工場の品質管理① ・外注担当者の実務とは ・工場選択の物差し	26	
12	製造工場の品質管理② ・外注担当者の質 ・外注指示による問題事例とその解決策	27	
13	外観検査(検品)の品質管理① ・外観検査(検品)とは ・外観検査の方法と判定	28	
14	外観検査(検品)の品質管理② ・外観検査をすることに関する注意点 ・物流の品質管理輸送、保管の品質管理	29	
15	消費者窓口の品質管理 ・お申し出における企業 ・問題に対応する心構え	30	

【評価方法】 期末試験70% 出欠席15% 授業姿勢15%

主要教材図書 アパレル品質論・アパレル品質管理

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
 企業での品質管理業務の経験をもとに、アパレル・小売企業が求める審美性、コスト、納期と消費者が求める品質を備えた製品を生産するために必要な品質管理について基本的な知識と実際の現場を踏まえた情報を合わせ、より現実的な知識と技術を学ぶ授業を実施

記載者氏名 大峠 敬三

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KE2	科名	アパレル技術科 2年	単 位	1単位
科目コード	500820	科目名	ファッションデザイン画 II	授業期間	半期

担当教員(代表) : 橋本 定俊	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

衣服のデザイン、構造を的確に描くことができるようになることを第一の目標に、学生個々の表現力を伸ばしていく。材質表現を中心としたベーシックなドローイング、彩色テクニックの習得及び明瞭なアイテム図の描き方を習得する。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- I・ベーシックデザイン/人体プロポーションのバランス確認と応用ポーズの作成
柄、透ける素材の描き方を練習 <2コマ>
- II・ディテールからの造形練習/ギャザー、フレアー、プリーツ、ドレープなどのディテールを応用しデザイン展開
グレーマーカーによる陰影とホワイト彩色によるハイライト効果 <2コマ>
- III・各種素材表現/厚地・薄地のデザイン・・・・・・・・マーカー・水彩の彩色技法、補助画材としての色鉛筆の使い方
デニム・皮革のデザイン・・・・・・・・パステルの彩色技法 <2コマ>
- V・アイテム図/衣服を明確な線図として描く。
各種アイテムのバランスの取り方とペン(太、中、細)の扱い方 <2コマ>
- IV・デザイン発想/画材の混色とマチエールの研究
筆のタッチによる材質感の描き方 <2コマ>
- VI・アイテム研究/アイテムの歴史とディテールの研究。
基本的な構造や機能を理解した上でのデザイン展開。 <4コマ>

【評価方法】

課題作品による評価 評価基準:学業評価75%、授業姿勢25%

授業の特徴と担当教員紹介

担当教員 橋本定俊

ファッションデザイン画のテクニック向上に加え、担当教員のアパレル業界でのデザイナーとしてのキャリアと知識に基づく、学生の未来に視点を置いた学習内容と指導になっている。

担当教員は、大学卒業後、文化服装学院アパレルデザイン科を卒業。(株)BIGI、(株)ワールド、タケオ・キクチのアシスタントデザイナーを経て、(株)イトキンでオリジナルブランドを設立、その後 文化服装学院、文化学園大学で、ファッションデザイン画、ファッションイラストレーションの講師を務めている。(株)STHM 代表。

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 橋本定俊

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KE2	科名	アパレル技術科2年	単位	1単位
科目コード	504505	科目名	コンピューターワーク（基礎）	授業期間	後期

担当教員(代表)：加藤 正人	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

衣服の構造を理解し、その視覚的伝達表現ツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着ける。

アパレル生産における実務能力の習得、向上を目標とする。

衣服製品図の製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。

【授業計画】

(1) パーソナルコンピュータの基本操作(0.5コマ)

- ・ハードウェアの操作/コンピューター本体、マウス、キーボード、モニター等
- ・OSの操作、ファイルの管理、文字入力

(2) Adobe Illustratorの基本操作(4.5コマ)

- ・Illustrator、ドローソフトの基礎知識
- ・各種ツール、パネル、メニューの操作
- ・描画、加工、編集の基礎技法

(3) 衣服製品図の制作(10コマ)

- ・衣服製品図の役割について
- ・衣服製品図の描き方
- ・各アイテムごとの製品図の製作
 - ・ディテール、パーツの表現
- ・カラーバリエーションの製作
- ・デザインの展開
- ・写真からデザインを分析、効果的な描画方法を探る

使用ソフト

- ・Windows OS
- ・Adobe Photoshop
- ・Adobe Illustrator

【評価方法】 ・実技試験-60% ・提出課題-20% ・出席率、授業態度-20%

主要教材図書 ・なし

参考図書 ・なし

その他資料 ・課題別各種プリント、作例

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル会社にてグラフィックデザイナーとして勤務後、フリーランスとして活動。

ファッションブランド、ショップ等のグラフィック、イラスト製作を手がける。

デジタルデバイス、グラフィックソフトによるファッショングラフィックの実践授業を実施。

記載者氏名

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 アパレル技術科2年	単 位	1単位
科目コード	科目名 キャリア開発Ⅱ	授業期間	後期

担当教員(代表)： 小林章子	共同担当者：
----------------	--------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の流れや活動するための必要な知識を得る。 ・学生が志望する先に内定するために必要な力を身に付ける。
--

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
・オリエンテーション ・第一印象の重要性 ・企業が求める人材	講義・ディスカッション	1
・ビジネスマナーの基本	講義・グループワーク	1
・就職活動の流れ ・インターンシップについて	講義	1
・自己分析	講義・グループワーク	3
・履歴書作成	講義・ワーク	3
・企業研究	講義・ワーク	1
・グループワーク対策	講義・ワーク	1
・面接対策	講義・ロールプレイング	2
・ビジョン作成 ・まとめ	講義・ワーク	1

<p>【評価方法】</p> <p>S～C・F評価 評価基準 学業評価50%：レポート、ロールプレイング、ファイル管理 授業姿勢50%：出席状況、授業・グループワークに対する参加度による総合評価</p>
--

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介
アパレル企業での採用・教育の業務経験をもとに、就職活動の流れや活動するための必要な知識、心構えなどをワークやディスカッションを交えながら指導。

記載者氏名 小林章子

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KE2	科名	アパレル技術科 2年	単位	2単位
科目コード	980020	科目名	特別講義 II	授業期間	通年

担当教員(代表)：三田 清美

共同担当者：吉岡 英子

【授業概要、到達目標・レベル設定】

- ・レギュラー授業で包括できない部分の専門知識、専門分野の講義、実技指導、実習を行う。
- ・生産技術の専門性を高める。
- ・業界や職務に関する理解を深め、就職への意識を高める。

【授業計画】

- 1、 アパレル企業における接着芯地（技術指導）1コマ（前期）
- 2、 生産技術（企業における縫製テクニック）10コマ（前期）
- 3、 トレンド解説（コレクショントレンド解説 2コマ（前期1コマ、後期1コマ）
- 4、 デジタルプリント（デジタルプリント室使用方法）2コマ（前期）
- 5、 パタンナー・生産管理者の役割（就職にむけて、各職種の役割について）1コマ（前期）
- 6、 業界研究（アパレル企業における職種の役割）1コマ（後期）
- 7、 ポートフォリオ講座（ポートフォリオ作成）1コマ（前期）
- 8、 帽子の一般知識（帽子制作） 8コマ（後期）
- 9、 アパレル企業におけるパターンメーカーの業務（パターン技術と知識）4コマ（後期）

【評価方法】

履修認定 (P表示)
評価基準：出欠状況

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント等

授業の特徴と担当教員紹介

- ・レギュラー授業で包括できない部分の専門知識、専門分野の講義、実技指導、実習を行う

記載者氏名 三田 清美